

職層研修「係長研修」(第10回)

【日時】	令和2年12月3日(木)、令和3年1月19日(火)、26日(火) 9:00~17:00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	25名
【講師】	社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂 氏 公益財団法人東京都人権啓発センター 西谷 隆行 氏 特別区人事・厚生事務組合 職員 株式会社ヒューマンエナジー 相場 聖 氏、佐伯 学 氏、下垣内 智 氏
【研修内容】	<p><目的></p> <p>係長の役割として必要な部下の育成・指導や勤怠管理、メンタルヘルスマネジメントの知識を習得し、組織管理能力の向上を図ることにより、組織の活性化を図る。また、人権・同和問題の現状、行政をめぐる最近の訴訟事例、えせ同和行為対応及び特別区制度について、係の指導者として身につけておくべき知識を習得する。</p> <p><内容></p> <p>(1日目)</p> <p>① 人権・同和問題の現状 人権問題や同和問題についての正しい知識と最新状況を知る。</p> <p>② 行政をめぐる最近の訴訟事例 行政をめぐる最近の訴訟事例について学び、日々の業務の中で注意すべきことを学ぶ。</p> <p>③ えせ同和行為対応 えせ同和行為に関する知識を習得し、適切な対応方法を学ぶ。</p> <p>④ 特別区制度 特別区制度の特徴について理解を深める。</p> <p>(2・3日目)</p> <p>① 係長の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係長としての役割を理解した上で、係長職に必要となる部下のマネジメントの基本を学ぶ。 ・職員のメンタルヘルスマネジメントのポイントを理解する。 ・職場でのアクションプランを作成し、3日目の研修までに実践及び評価を行う。 ・部下とのコミュニケーションの重要性を学び、部下のモチベーションと能力を引き出すためのコーチングスキルを習得する。
【受講生の声】	<p>【人権・同和問題の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の実体験に基づく話が聞け、とても勉強になりました。人権問題は、個別具体的に考えていかなければいけないと思いました。 <p>【行政をめぐる最近の訴訟事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例に触れながらの講義だったため、とてもわかりやすかったです。 ・係長級職員として、今後訴訟に関わる機会が考えられるため、講義で学ぶことができてよかったです。

【えせ同和行為対応】

- ・同和問題への正しい理解とえせ同和行為への対応方法について学ぶことができ、勉強になりました。

【特別区制度】

- ・特別区制度について改めて体系的に学習することができたのでよかったです。

【係長の役割】

- ・メンタルヘルスの講義では、職場復帰フォローについて具体的な話を聞くことができたので、今後の参考になりました。
- ・ケーススタディを通して、係長としての視点での考え方や対応の仕方を学ぶことができました。他の人の意見や感想も知ることができたのでよかったです。